

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	奈良保育学院
設置者名	学校法人 白藤学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育保育専門課程	保育科	夜・通信	28 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<ul style="list-style-type: none"> ・ http://www.shirafuji.ac.jp/shirafuji_gakuin/?page_id=44 ・ 学生便覧に記載して公表
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	奈良保育学院
設置者名	学校法人 白藤学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.shirafuji.ac.jp/?page_id=7

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
米田 憲司 (非常勤)	企業経営者	2018/4/1 ~ 2022/3/31	会社経営者として培ってきた見識で学校運営に対し提言や助言を期待する
中野 雅史 (非常勤)	県議会議員	2018/4/1 ~ 2022/3/31	県政に携わる立場や見識から学校運営に対し提言や助言を期待する
鍛冶 佳広 (非常勤)	企業経営者	2018/4/1 ~ 2022/3/31	会社経営者・元奈良市教育委員として培ってきた見識で学校運営に対し提言や助言を期待する
山本 吉延 (非常勤)	大学院教授	2018/4/1 ~ 2022/3/31	教育界における長年の経験と見識をもって学校運営に対し提言や助言を期待する
橋本 正昭 (非常勤)	金融機関役員	2018/4/1 ~ 2022/3/31	金融業界における長年の経験と見識をもって学校運営に対し提言や助言を期待する
朝廣 佳子 (非常勤)	企業経営者	2018/4/1 ~ 2022/3/31	マスコミ業界の会社経営者として培ってきた見識で学校運営に対し提言や助言を期待する

乾 昌弘 (非常勤)	企業経営者	2018/4/1 ~ 2022/3/31	会社経営者として培 ってきた見識で学校 運営に対し提言や 助言を期待する
(備考) 学外理事 7 名の職名は何れも現職。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	奈良保育学院
設置者名	学校法人 白藤学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>高等教育機関における教育の質保証の観点から、シラバスは「シラバス作成要領」に基づき授業担当教員へ周知のうえ作成している。シラバスは、各授業科目の詳細な授業計画であり、学生が各授業科目の準備学修を進めるための基本となるものである。</p> <p>シラバスの主な項目は、必修・選択の区別、授業担当形態、授業のテーマ及び到達目標、授業の概要、授業計画、学生に対する評価である。</p> <p>シラバスは、当該年の前年度末(3月)に作成し、当該年度当初(4月)に公表する。</p> <p>シラバスを記載した冊子(学生便覧)を全学生・全教員・学外関係者委員等に配布している。また、シラバスを本学院ホームページの「情報公開」において公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.shirafuji.ac.jp/shirafuji_gakuin/?page_id=44
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位の計算方法、単位の授与、履修方法、課程修了の認定については学則第13条～第16条に規定している。</p> <p>各授業科目において、試験やレポートの内容、学習への意欲などの評価方法(どのように学修成果として評価し、単位を与え、又は履修を認定しているか)を予め設定し、シラバスにより明らかにしている。なお、単位の認定については、主に以下の流れで行う。欠課時数等の受験資格を確認し、筆記試験、レポート、実技等の試験を行う。試験結果は100点満点の素点で表し、60点以上を合格とする。未受験科目、60点未満の科目については、追試験・再試験を行う。成績表記は、「秀;100～95 優;94～80 良;79～70 可;69～60」とする。学生便覧の「単位の認定について」で受験資格、実施方法、追試験・再試験の詳細を記載し、「試験結果について(見本)」では結果の読み取り方を説明している。「科目単位認定までの流れ図」では学生が理解しやすいようにフローチャートで解説している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価及び単位修得状況については、半期毎に全常勤教員が出席する成績判定会議を開催し、判定・審議を実施している。成績判定会議において、学年全体の成績分布状況と学生個人の単位取得状況及び席次は把握できている(成績判定会議資料：別紙)。また、客観的な指標の算出方法として、各授業科目は100点満点の素点で評価され、各学期、通算在籍期間毎に履修科目の平均値を算出する。ただし、実習等の学外の教育施設等において学修し単位認定される授業科目は対象から除外する(添付資料：客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料)。</p> <p>なお、成績評価及び成績状況の把握の精度を更に高めるために、翌年度以降にGPA制度の導入について検討する予定である。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.shirafuji.ac.jp/shirafuji_gakuin/?page_id=44
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業については、学則第25条に規定しており、全常勤教員が出席する卒業資格免許判定会議を経て学院長が認定している。学則は、本学ホームページの「情報公開」→「学則」の項で公開している。本学のディプロマポリシー(卒業認定及び専門士授与の方針)を次に示す。</p> <p>【ディプロマポリシー(卒業認定及び専門士授与の方針)】</p> <p>「2年以上在学」、「所定の単位の計算方法に基づく1700時間以上の受講」、「所定科目の中から62単位以上の修得」に加え、次の1～3に示す能力を身につけた者に対して卒業を認定し、併せて専門士の称号を付与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児教育及び保育に関する知識と技能を身につけた者 2. 専門職に相応しい実践力を身に付けた者 3. 職業能力を高めていくための基礎を身につけた者 <p>なお、ディプロマポリシーは、アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)及びカリキュラムポリシー(教育課程の編成及び実施の方針)と共に3つのポリシーとして公表している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.shirafuji.ac.jp/shirafuji_gakuin/?page_id=44

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	奈良保育学院
設置者名	学校法人 白藤学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.shirafuji.ac.jp/?page_id=13
収支計算書又は損益計算書	http://www.shirafuji.ac.jp/?page_id=13
財産目録	http://www.shirafuji.ac.jp/?page_id=13
事業報告書	開示請求があった場合は、法人事務局にて閲覧可能。
監事による監査報告（書）	http://www.shirafuji.ac.jp/?page_id=13

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育保育専門課程	保育科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700時間/62単位	465/33	1350/44	445/11	0	45/1
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		115人	0人	7人	17人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>高等教育機関における教育の質保証の観点から、シラバスは「シラバス作成要領」に基づき授業担当教員へ周知のうえ作成している。シラバスは、各授業科目の詳細な授業計画であり、学生が各授業科目の準備学修を進めるための基本となるものである。</p> <p>シラバスの主な項目は、必修・選択の区別、授業担当形態、授業のテーマ及び到達目標、授業の概要、授業計画、学生に対する評価である。</p> <p>シラバスは、当該年の前年度末（3月）に作成し、当該年度当初（4月）に公表する。</p> <p>シラバスを記載した冊子（学生便覧）を全学生・全教員・学外関係者委員等に配布している。また、シラバスを本学院ホームページの「情報公開」において公表する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>単位の計算方法、単位の授与、履修方法、課程修了の認定については学則第13条～第16条に規定している。</p> <p>各授業科目において、試験やレポートの内容、学習への意欲などの評価方法（どのように学修成果として評価し、単位を与え、又は履修を認定しているか）を予め設定し、シラバスにより明らかにしている。なお、単位の認定については、主に以下の流れで</p>

行う。欠課時数等の受験資格を確認し、筆記試験、レポート、実技等の試験を行う。試験結果は100点満点の素点で表し、60点以上を合格とする。未受験科目、60点未満の科目については、追試験・再試験を行う。成績表記は、「秀；100～95 優；94～80 良；79～70 可；69～60」とする。学生便覧の「単位の認定について」で受験資格、実施方法、追試験・再試験の詳細を記載し、「試験結果について（見本）」では結果の読み取り方を説明している。「科目単位認定までの流れ図」では学生が理解しやすいようにフローチャートで解説している。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業については、学則第25条に規定しており、全常勤教員が出席する卒業資格免許判定会議を経て学院長が認定している。学則は、本学ホームページの「情報公開」→「学則」の項で公開している。本学のディプロマポリシー（卒業認定及び専門士授与の方針）を次に示す。

【ディプロマポリシー（卒業認定及び専門士授与の方針）】

「2年以上在学」、「所定の単位の計算方法に基づく1700時間以上の受講」、「所定科目の中から62単位以上の修得」に加え、次の1～3に示す能力を身につけた者に対して卒業を認定し、併せて専門士の称号を付与する。

1. 幼児教育及び保育に関する知識と技能を身につけた者
2. 専門職に相応しい実践力を身に付けた者
3. 職業能力を高めるための基礎を身につけた者

なお、ディプロマポリシーは、アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）及びカリキュラムポリシー（教育課程の編成及び実施の方針）と共に3つのポリシーとして公表している。

学修支援等

（概要）

学生の相談に関しては、学年担当教員を中心として個別に対応している。本学院は小規模校で学生と教員が密に関わりやすいことを活かし、事象により学年担当等の分掌にとらわれず、全常勤教員が学生対応に携わっている。各学年担当として男女の教員を配置している点も活用して、話しやすい教員に相談するようオリエンテーション時などに学生へ促している。また、非常勤教員とも情報を共有すると共に、連携を密にした学生指導・学生対応を行っている。学園共有の教育相談室が設置されており、専任の教育相談員が常時、専門のカウンセラーが週1回在室している。なお、学生からの相談内容に応じ、保健室の担当者が関連医療機関についての情報提供を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
54人 (100%)	0人 (0%)	53人 (98%)	1人 (2%)
（主な就職、業界等） 保育所、児童養護施設、幼稚園、認定こども園			
（就職指導内容） 本学に入学した学生の目的及び本学院の目的・使命は、関係分野への就職であること			

<p>を明確にするため、入学当初に学生便覧の「進路について」の項で就職に関する説明を行っている。学年担当及び就職担当教員が密に連携しながら学生と関わり、学生への就職指導を行っている。求人及び学生の就職活動状況は教員間で情報を共有し把握している。</p> <p>就職関連授業の「課題研究」において、関係職での就労、マナー、作文試験、面接指導、模擬試験、関係職の動向、個人面談、受験対策・受験概要など多岐にわたる内容を指導している。また、関連分野の就職先の関係者を講師とした進路ガイダンスを年2回程度実施している。当該授業には進路・学年・実習担当の全ての常勤教員が関わり、指導体制を強化している。</p> <p>学外で開催される就職フェアや就職ガイダンス等への参加については、学生に促すと共に、教員も参加して関係分野及び個別の就職先の状況を把握し、学生の就職活動を支援している。</p> <p>就職検討委員会を年に数回開催し、進路指導や求人情報、学生の就職活動状況等について審議している。これらの報告及び審議事項については、学校関係者評価委員会で報告する機会を設け、委員から意見や助言をいただき指導に活用している。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>幼稚園教諭二種免許状、保育士資格、ピアヘルパー資格</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
113人	5人	4.4%
(中途退学の主な理由)		
進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>年度当初の学園会議時に提示される経営計画の「実行計画・運営方針」として、退学者数の目標数値が掲げられ、教員に周知されている。数値目標が最重要点ではなく、学生の進路に関する目的意識の涵養が教員に求められた使命であるということを念頭に学生に対応している。</p> <p>学習面・心理面・生活面などが気になる学生については、学年担当教員の早期からの関わり、保護者への連絡や面談、クラスメイトからの声掛けの促進、保健室の教諭との連携などにより退学の兆候を把握し、退学の予防を図っている。</p> <p>欠課時数が多い学生を早期に把握するための文書を全教員に適時配布している。何らかの理由から欠席過多になり中途退学に至るケースもあることから、該当者へは個別に電話連絡・面談等を実施し、退学の兆候を見逃さないようにしている。</p> <p>教育相談員が常時在室する教育相談室を設置し、専門のカウンセラーとの個別相談の機会も設定している。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
保育科	100,000 円	480,000 円	400,000 円	その他は、施設設備整備費、教育充実費、実習費等
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
自治体・企業等の奨学金制度に関する情報を学生に周知するとともに、学生及び保護者からの相談に応じ、学費分納制度を実施している。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公表URLアドレス： http://www.shirafuji.ac.jp/shirafuji_gakuin/?page_id=44 上記アドレスの「情報公開」→「学校評価概要」→「奈良保育学院自己評価報告書の概要」の項で公表している。
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本学院では自己点検を平成 17 年度から行い、自己評価は平成 25 年度から私立専門学校等評価研究機構の専門学校等評価基準書に基づき行っている。自己評価については学則に規定し、自己評価委員会を毎年度全常勤教員が出席のうえ実施している。 平成 26 年度より文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」に則り学校関係者評価委員会を設置し、教育及び学校運営の改善に取り組んでいる。 自己評価結果は学校関係者評価委員会において報告すると共に、問題点や改善点などについて審議している。 学校関係者委員会は、関連業界関係者、卒業生、教育に関し知見を有する者、その他学院長が必要と認める者の中から、少なくとも 1 名を学院長が委嘱する委員により構成する。学校関係者評価委員会における主な評価項目は、「教育理念・目的・育成人材像」「学校運営 (運営方針、事業計画等)」「教育活動 (教育課程、授業評価体制、成績評価等)」「教育成果 (資格取得率、就職率、退学率等)」「学生支援 (就職進学指導体制、学生相談体制、健康管理体制、課外活動支援体制、保護者との連携、卒業生への支援体制等)」「教育環境 (施設設備の整備、学外実習等への教育体制、防災体制)」「学生の募集と受け入れ (学生募集の適正さ、教育成果の正確な発信、入学選考基準等)」「財務 (財務基盤、予算収支計画、会計監査、財務情報公開)」「法令等の遵守 (法令・設置基準、個人情報保護、自己点検・自己評価)」「社会貢献 (学校施設の活用、学生ボランティアの支援・奨励)」である。 学校関係者評価委員会は年 3 回開催し、学内の実習検討委員会・就職検討委員会・教育課程検討委員会での討議事項をいずれかの回において報告し、学外委員から助言や意見を頂いている。評価結果の改善事項については、随時会議もしくは当該委員会で執行手順などを確認のうえ、学校運営及び教育活動に反映・活用している。 自己評価結果は、自己評価報告書としてまとめ、平成 25 年度から公式 web アドレス上で、「情報公開」→「学校評価概要」の項で公表している。また、学校関係者評価は、平成 26 年度から「学校関係者評価委員会報告書」として公式 web サイト上で公表している。 なお、学外の関係機関から選任された委員と本学教員とで構成された教育課程編成委

員会を設置し、教育課程の編成に活用している。委員会は少なくとも年2回開催し、校内での教育課程検討委員会での討議事項も含めて審議している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
奈良市私立幼稚園協会会長 (いさがわ幼稚園園長) 西山 明彦 (西大寺幼稚園園長) 谷口 偉	2018年4月～2019年3月 2019年4月～2020年3月	専門分野 専門分野
(極楽坊保育園園長) 松村 善子 (極楽坊保育園園長) 辻村 泰聡	2018年4月～2019年3月 2019年4月～2020年3月	専門分野 専門分野
奈良県私学専修学校連合会会長(大原和服専門学園理事長) 大原 敏敬	2018年4月～2020年3月	有識者
(三友会会長) 祐岡 友里栄	2018年4月～2020年3月	保護者
(元公立幼稚園園長) 米田 久美子	2018年4月～2020年3月	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公表URLアドレス: http://www.shirafuji.ac.jp/shirafuji_gakuin/?page_id=44 上記アドレスの「情報公開」の項で、「学校関係者評価報告書」として公表している。		
第三者による学校評価(任意記載事項)		
第三者評価は、平成29年度に私立専門学校等評価研究機構(特定非営利活動法人)にて受審した。評価結果は本学院ホームページ(「情報公開」→「奈良保育学院第三者評価報告書」)及び私立専門学校等評価研究機構ホームページ(「第三者評価事業」→「評価結果」→「評価結果データベース」→「奈良保育学院」)において公開している。また、評価結果は、当該評価研究機構が評価報告書(平成30年4月付)として刊行している。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公表URLアドレス: http://www.shirafuji.ac.jp/shirafuji_gakuin/
